

## 2018・小学校低学年「きみ、なにがすき？」

□もりのおくにすんでいるあなぐまは、にわにはたけをつくろうとしています。もし私なら、にわのはたけで  
をつくりたいとおもいました。

□あなぐまは自分の好きなものをつくるのではなく、こぶたのために ○○○○○○ をつくろうとします。

そのあとも、りすのために ○○○○○○ を、うさぎのために ○○○○○○、はりねずみのために  
○○○○○○ をつくろうとしますが、うまくいきません。

□でも、みんなはできたものをあなぐまにわけてくれるので、とてもやさしい/なかよし/しんせつだと思います。  
いじわるをしているのではないけれど、うまくいなくてあなぐまのきげんがわるくなります。

私も（考えていたことがうまくいかない体験） のとき、  
というきもちになりました。

□もし私があなぐまのともだちなら、  
するだろう/と言うだろう と思いました。

□そのときのあなぐまのきもちは、 だったと思いました。

でもそのときは、 だと考えた/と感じたのだと思います。

□だれかをよろこばせようと思ってしたことが、うまくいかないと  
というきもちになります。

□さいしょはおもいやりの/すきだというきもちからはじめたことなのに、どうしてこうなってしまったのか？

私は だからではないかと思いました。/考えました。

□さいごに、はりねずみにすきなものをつくるようにいわれて、あなぐまはひとばんじっくり考えたて  
○○○○○ と ○○○○○○ をつくりました。○○○○○ と ○○○○○○ ができたことで、あなぐまのにわには  
なかよしのともだちがあつまって、にぎやかにおしゃべりができます。

あなぐまの考え/アイデア/つくったものは だと思いました。

□「だれかによろこんでもらいたい」というきもちはたいせつです。

でも、じぶんがすきなもの/じぶんのきもち をきちんとつたえることもたいせつです。なぜなら、  
だからです。

□私はこの本をよんで、 なときは、

しっかりと自分の気持ちをつたえよう/じっくりとともだちの話をきこう/ と思うようになりました。